

第2回福岡空港調査P I 有識者委員会

議 事 要 旨

【開催日時】平成17年2月17日（木）13:30~15:00

【開催場所】博多都ホテル4階「桔梗の間」

【出席者】

- | | |
|------------------------|--------|
| (1) 委員（委員長）筑波大学社会工学系教授 | 石田 東生 |
| 西日本新聞社特別顧問 | 杉尾 政博 |
| 神戸大学工学部助教授 | 竹林 幹雄 |
| 公認会計士 | 土井良 延英 |
| 弁護士 | 山本 智子 |

(2) 福岡空港調査連絡調整会議からの出席者

・福岡空港調査連絡調整会議幹事

- | | |
|-----------------------------------|-------|
| 国土交通省九州地方整備局港湾空港部長 | 戸田 和彦 |
| (代理出席:九州地方整備局博多港湾・空港整備事務所長 元野 一生) | |
| 国土交通省大阪航空局飛行場部長 | 松本 清次 |
| 福岡県企画振興部理事兼空港対策局長 | 西村 典明 |
| 福岡市総務企画局理事 | 田代 政範 |

【資料】次第、出席者名簿、座席表

資料1 福岡空港調査P I 有識者委員会の情報公開及び傍聴に係る要領

資料2 福岡空港調査P I 実施計画（ステップ1）成案について

（福岡空港調査連絡調整会議からの送付文）

【議事要旨】

(1) 報告事項

福岡空港調査P I 有識者委員会の情報公開及び傍聴に係る要領について事務局から説明が行われた（資料1）。

(2) 審議事項

- ・福岡空港調査P I 実施計画（ステップ1）成案について福岡空港調査連絡調整会議（福岡県企画振興部西村理事）から説明が行われた（資料2）。
- ・以下のことについて委員会として確認した。
 - ① 委員会としては、P I 実施計画（ステップ1）については適切であると評価する。
 - ② 本実施計画をさらによくするための意見を助言としてとりまとめる。
 - ③ 以上の評価及び助言については、委員長が評価書原案を作成し、各委員と調整を行った後、福岡空港調査連絡調整会議に送付する。
- ・委員から次のような助言が行われた。
 - ① 情報入手方法として市民等からのニーズの高い報道メディアへの働きかけを積極的に行

うこと。

- ② 提供する情報の質と量を工夫し、市民等の関心が得られるよう配慮すること。
- ③ 市民等から収集した意見と、その意見がどのように反映されているか分かりやすく示すこと。
- ④ 意見の収集にあたっては、年齢、性別等の属性の把握も念頭に置きつつ、意見を出しやすいよう工夫し、幅広い層からの意見把握に努めること。